

株主・投資家とのコミュニケーション

1. 基本的な考え方

当社は、会社情報の適時適切な開示に努めるとともに、国内外の株主・投資家の皆さまに対する積極的なIR活動、建設的な対話を通じて、透明性の高い企業経営を目指しています。具体的には、会社情報を適時、公正かつ正確に開示す

ることに加えて、経営トップ自らが当社業績や業況、事業戦略などについて、積極的に説明会などを通じて、株主や投資家の皆さまにより深く理解をいただけるよう努めています。

2. 活動実績

(1) 個人投資家向け活動

個人投資家の皆さまに、当グループについてご理解を深めていただけるよう、個人株主・投資家を対象とした説明会の開催や個人投資家専用のウェブサイトの開設、株主向け通信（とらすと通信～営業のご報告）の発信など、情報提供に努めています。

2020年度の説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会場を使用した開催を見合わせ、12月に証券会社主催のオンライン説明会への参加、収録した説明会動画の当社ウェブサイトでの配信などを行いました。



詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

https://www.smth.jp/investors/individual_meeting/index.html

(2) 機関投資家向け活動

アナリスト・機関投資家を主な対象として、本決算・中間決

算に合わせて年2回、決算説明会を開催しています。加えて、証券会社などが主催するカンファレンスへの参加や、国内・海外IRにて個別の面談を実施し、経営戦略や財務状況などについて説明を行っています。こうした機会を通じて得られたアナリスト・機関投資家からの意見などについては、経営陣に適時・適切にフィードバックを行うとともに、取締役会への定期的なIR活動の報告も行っています。

また、株主との建設的な対話を充実させる取り組みを進めています。議決権行使責任者に対し、当グループにおけるガバナンスや経営方針などについて説明する対話の機会を増やしています。また、ESG（環境・社会・ガバナンス）をテーマとした対話も今後一層注力していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大は収束せず、国内外への出張が困難な状況ではありましたが、2020年度においても電話会議、ビデオ会議などの手段を積極的に活用し、投資家との対話の継続に努めました。

■ IR活動(2020年度実績)

| | |
|------------------|------------------------------|
| アナリスト・機関投資家向け説明会 | 2回 |
| 海外IR | 6回(渡航制限もあり、全てオンラインにて実施) |
| 国内外機関投資家との個別面談 | 個別面談社数:266社 (うち海外投資家112社) |
| 個人投資家向け説明会 | 4回(Web開催) |

3. 株主総会

毎年6月に開催する定時株主総会では、招集通知を早期に発送し、さらに発送の1週間前には、英訳版を、和文と同じタイミングで当社ウェブサイトなどに掲載しています。また、インターネットおよびスマートフォンなどによる議決権の電子行使を可能としており、株主名簿管理人によるスマートフォンなどを用いた電子行使(スマート行使)の推進キャンペーンに参加するとともに、議決権行使プラットフォームに参加するなど、電子行使の推進に取り組んでいます。

2021年定時株主総会では、株主の皆さまへの適切な情報

提供の観点から、開催日を総会集中日から前倒し、6月23日に開催しました。また、株主総会の開催に先立ち、株主の皆さまからインターネットで議案に関するご質問を事前に承る運営を導入したほか、当日株主総会へご来場されない株主の皆さまに、総会の議事模様をご視聴いただけるよう、インターネットによるライブ配信を実施しました。

株主総会終了後には、当社ウェブサイトにて、決議通知および議決権行使結果に加えて、総会当日の映像を速やかに掲載しています。